

GEKKAN ORIMOTO

月刊 織本

11 月号

2008 年 11 月 1 日 Vol.171

発行 医療法人社団 織本病院

印刷 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘 1-261

Tel 042-491-2121 URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



心みじ

(2008.10.19)

透析者への福音

山は少しずつ紅葉が始まっているという連絡が八ヶ岳に行っている母から届きました。それを聞いて、先日行った木更津の古い農家の庭に柿がたくさんなっているのを思い出しました。

秋は確実に深まっているのですね。

* * *

私は今年の日本大腸肛門病学会で、透析者の内痔核手術の新しい術式について発表しました。実は透析をする時には、必ず抗凝固剤という薬を使って透析中、回路の中で血液が固まらないようにするため、透析者は常時出血傾向があるのです。そのため、外科的手術をする時はどんな手術でも外科医はとても神経を使います。まして、肛門手術のように術後安静をとれない部位の手術はなおさらのことです。何故なら、毎日排便をするからです。どんなに丁寧な止血をしても翌日から排便をすると、やはり大なり小なり出血するのです。それも健常者の出血とは比べものにならない位の大変な出血です。

私は 1982 年から透析者の内痔核に対し、幾つかの術式を工夫しながら選択してきました。そしてその種々の術式により、術後の大出血の経験はありません。しかしそれでも、もっと安全な方法はないかと考え続

理事長 高木 由利



けていました。

2000 年中国の上海で行われた日中学術交流会に演題を出した時、中国の外科医達が内痔核を切除するのではなく、“消痔霊”という薬を注射して痔を縮める術式を盛んに発表していました。私は何とか消痔霊が手に入らないものかと中国のドクター達に聞いてみると、3 年間中国の専門病院で研修したら消痔霊をあげると言われ断念したのでした。その消痔霊が 2005 年 3 月、日本の会社で製造され発売されました。そして認定を受けた肛門科医だけが使えるということになったのです。それが“ALTA 療法”です。その後私は 2006 年より ALTA の認定医となり、この痛みのない切除しなくて済む ALTA 療法を内痔核手術の新しい術式に加えました。それは内痔核に悩む方々のために作られた望ましい方法でした。そして更に透析者にとっては、まさに福音だったのです。

ところが厚労省は、その薬にはアルミニウムが入っている所以透析者がアルミニウム脳症を起こすといけないから使うなと言うのです。アルミニウムは尿中に排泄され、また透析では除去されにくい物質であるという理由です。そこで私は透析に関するあらゆる文

献を調べました。そこに興味深いことが書いてありました。“アルミニウムの蓄積は慢性のアルミニウム曝露に特徴的であり、急性の曝露でみられることは少ない”というのです。慢性アルミニウム中毒とは厚労省が20年位前まで自由に透析者に使わせていたリンを下げる薬で起こった病態のことです。何年間も365日この薬を飲み続けていると、10年後や20年後にアルミニウム脳症になるということが報告されています。これが慢性の曝露です。従って、たった1アンプルのALTAのわずかなアルミニウムでは、医学的にアルミニウム脳症が起こるとは考えにくいのです。

何故厚労省はこんな不思議なしばりを始めたのでし

ょうか。透析療法は医療費を圧迫するからという理由で年々透析がしにくい状況が起きています。透析者の肛門出血を治し、少しでも安全な状態にしていく薬は国にとっては望ましくないのでしょうか。

ALTAは透析者の方々がよく納得して下されば、内痔核切除よりむしろ安全な方法だと私は考えています。私は血液中のアルミニウム量を1例1例測定し、危険がないことを確認しつつ、どうしてもALTAでなければ難しい方々にのみこの術式を選択しています。透析者の方々がいつも安全に且つ必要な手術を受けられるように国はもっと頭を使うべきだと私は考えています。

転ばない体と意識づくり



病棟看護師 主任 上野 真希子

転倒や転落事故は、いったん起こると骨折や外傷といった結果を招く危険があり、寝たきりを引き起こす大きな原因となってしまいます。

私は先日「転倒予防医学研究会」に参加してきました。そこで転倒予防について病院や施設、地域ではどのような取り組みをしているか知ることができました。その中でとてもユーモアのある取り組みがありました。転倒を予防するための①筋力維持②バランス感覚③瞬発力をゲーム機を使って向上させようと言うのです。どんなゲーム機かといいますと、「ワニワニパニック」ってご存知ですか？もぐら叩きゲームによく似ていて、穴からワニが飛び出てきた所をハンマーで叩くゲームです。このゲームは上半身を主に使います。ところが、鍛えたいのは下半身の筋肉です。そこで、ナムコ社が協力し、穴から出てきた蛇を足で踏みつける「ドキドキヘビ退治」というゲーム機が開発され、2006年から販売しているそうです。目で見て、足を動かす。その行為が瞬発力を高めます。また、転倒予防に重要なつま先上げ、もも上げ、サイドステップの3種類の動作を楽しく自然に引き出すこともできます。施設などでは、それを通じて仲間ができるなどたくさんのメリットがあるようです。

こんなことを書いている私も、3階まで階段を昇る

と太ももがだるくなり、足が上がらなくなります。平地でもつまずいてしまいます。このままではまずいと思い、よくテレビコマーシャルで家族で楽しんでいるゲーム機を買って、筋力トレーニングやヨガをやってみました。テレビゲームと会話をしながら一人でトレーニング・・・楽しくない。やはり長続きはしませんでした。

「精一杯楽しみながら運動を継続すれば、結果として機能が向上する」「心が動けば、体も動く」と、ある先生がお話されていました。自分が楽しめることを見つけて継続するのは、簡単なようで難しいことだと思います。もう見つけている方はラッキーですね。まだ私のように見つけていなくても心配はいりません。日常生活で以下のことを心がけていらっしゃる方は転びにくいという4点があります。

- ① 和式トイレ
- ② 立って着替える
- ③ 手すりを使わず階段を昇り降りする
- ④ 頭の高さ以上の洗濯干し

体調によってはできない方もいらっしゃると思いますが、ちょっと意識するだけで何かが変わってく

るかもしれません。私は病院で、歩くだけで足の筋力がアップするという靴を履いています。実際筋力が向上したかはわかりませんが、「心が動けば、体も動く」

と信じていれば筋肉も期待に応えてくれるのではないかと思います。

皆さんも、転ばない体作りを意識してみませんか？

MRIがオープン型装置に変わりました

放射線科 主任 三浦 正二



この度、当院に新しくオープン型MRIが導入されたのでご紹介します。
以前のトンネル型は、患者様から“狭い所が苦手”とか“音がうるさい”などといったご意見も多少ありましたが、今回導入したオープン型は写真でもわかるようにとても開放感があり音も静かなので、今までと違い閉所恐怖症の方や小児、ご高齢の方などにも安心して検査を受けていただくことができます。

またDWI（拡散強調画像）という急性期脳梗塞の診断に有用な撮影法も新たに検査できるようになりました。これから、種々の病気の診断に充分活用できる頼もしい機械です。



オープン型MRI



ご家族からのお便り

当院の患者様のご家族で、老舗の植木職人をされている古田幸夫さんが毎月とてもスナキなお便りをくださいます。
今回は十月のお便りをご紹介します。

インフルエンザ予防接種のご案内

当院では只今、インフルエンザ予防接種（13 歳以上）の予約を受け付けております。1 階薬局受付、もしくはお電話にて承っております。また、現在病院にかかられている患者様は必ず主治医と相談の上、ご予約ください。

- 実施期間 10 月 15 日 (月) ～ 1 月 31 日 (土)
- 実施日時 月～土曜日 14:00 ～ 16:30
 - ・ 上記時間でご都合の悪い方はご相談ください。
 - ・ 当院を受診されている患者様は、診察時の接種も可能です。
- 接種費用 2,940 円 (税込)
- ご予約・お問合せ TEL 042-491-2121 (9:00 ～ 17:00)

清瀬市在住の 65 歳以上の方は 2,200 円の負担で接種できます。

※ 60 ～ 64 歳で、心臓・腎臓・呼吸器等で 1 級の障害の方 及び ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に日常生活が殆ど不可能な程度の障害の方も該当します。

実施期間：平成 20 年 10 月 15 日 (月) ～ 12 月 27 日 (土)

相互乗り入れ協定市について

- 1) 共通の予診票を使用 (当院に有り)
清瀬市・昭島市・小金井市・小平市・東村山市・国分寺市・国立市・武蔵村山市・狛江市
- 2) 住所地の予診票を使用 立川市・東大和市・東久留米市 (東久留米市の予診票のみ当院にあります)
- 3) 上記市以外の市町村区については依頼書が必要です。各市町村区にお問合せください。

その他

- ・ 年齢確認のため、健康保険証または運転免許証を持参してください。
- ・ 生活保護受給者の方は受給証明書を持参してください。(生活福祉課で発行してもらえます。)
- ・ 60 ～ 64 歳の障害 (1 級) の方は障害者手帳を提示してください。
- ・ 診察時に接種を希望する方は、受付窓口にて必ず申し込みしてください。

ちょっと早い 12 月のニュース!!

12/20 (土) 今年も恒例のクリスマスコンサートを行います♪
音楽ホールへトリニユアルしたオリモトホールで皆様にお会いできることを、
コーラス部一同楽しみにしております。
詳しくは来月号の月刊織本でお知らせします。



第 92 回 腎疾患ゼミナール

腎不全と共に生きよう!! ⑩

『浮腫 (むくみ) とは? その 4』 腎臓内科：高木由利

栄養科からのワンポイントアドバイス

『でんぷんホットケーキミックスを使って“サンドウィッチ”を作ろう!!』

管理栄養士：建路 七織

2008 年 11 月 27 日 (木)
午後 1:00 ～ 2:00
オリモトホール (当院 4F)
参加費無料